

給食だより 11月号



新座市立東野小学校

◎ 食べ物をつくってくれる人や 食べられることに感謝をしよう！！

このところ日も短くなって、日に日に秋が深まってきました。もみじ狩りにも良い季節となりました。

23日（水）は、「勤労感謝の日」です。食べられることに感謝の気持ちを持ってほしいと思います。食べ物を食べられるようになるまでには、たくさんの人が関わっています。そして、その食べ物の命をいただいています。

14日（月）は、「埼玉県民の日」です。このことにちなみ、今月は「彩の国ふるさと学校給食月間」となっています。地産地消の考えに基づき、埼玉県や新座市の地場産物を積極的に取り入れたり、埼玉県の郷土料理に親しんだり、ふるさとに愛着を深めるとともに、感謝の気持ちも育んでほしいと思います。

「地産地消」の良いところ

☆消費者のメリット

- ・新鮮な食材を購入できる
- ・生産者がわかることで、安心して食べられる
- ・旬の味を知ることができる



☆生産者のメリット

- ・規格や鮮度の面で無駄が減る
- ・消費者のニーズを知ることができ、生産意欲が高まる
- ・流通コストが安くなる



埼玉県は首都圏で消費される農産物の栽培を担っています。地産地消を通じて、消費者と生産者の相互理解や活性化といった利点もあると考えています。

給食では生産者の方々にご協力いただき、新座市で育った農産物を使用しています。

*新鮮な新座の野菜が給食に登場！！

今月も、市内の生産者のご協力により、東野小の給食にとれたての新鮮な野菜を使わせていただきます。

11月は、「さつまいも」「じゃがいも」「長ねぎ」「大根」「白菜」「人参」「小松菜」などをおいしく調理して給食に使わせていただきます。

埼玉県で生産された食材もお知らせします。牛乳・生クリーム・米・味噌・しょうゆ・パン・麺・こんにゃく・しゃくし菜・ゆずゼリーなどです。



の農産物

☆全国第1位

里芋	(19.7%)
小松菜	(16.6%)



☆全国第2位

ほうれん草	(12.0%)
長ネギ	(12.0%)



☆全国第3位

ブロッコリー	(9.8%)
枝豆	(9.8%)
きゅうり	(8.6%)



その他にも

小麦	(5位)
白菜	(5位)
スイートコーン	(6位)
やまいも	(6位)
にんじん	(7位)
お茶	(8位)
じゃがいも	(9位)
なす	(10位)



にんじんについて

新座市で2番目に栽培面積の多い野菜です。新座市では、夏に種を蒔いて秋～冬に収穫します。（新座市で、一番多く栽培されている野菜はほうれん草です）新座市は古くからのにんじんの産地で、以前は、ごぼうのように細長い長にんじんが主流でしたが、今は短いにんじんばかりになりました。

